

防災行動計画検討部会の報告

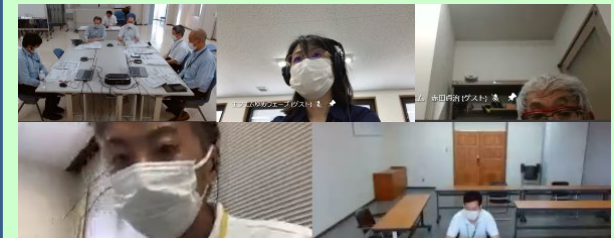
- 「第12回吉井川水害タイムライン検討会」「第20回旭川水害タイムライン検討会」「第12回高梁川水害タイムライン検討会」をWEB会議で開催（令和4年6月17日（金）14:00～15:30）
- 令和4年度の出水対応に向けてタイムラインの概要と運用について確認
- 今年度から出水時の防災行動等の見通しや共有すべき防災行動の情報共有等を行うことを目的として試行する「オンライン情報共有」の概要やルールを確認し、試行実施に向けて調整を進めることを確認

＜令和4年度タイムライン運用に向けた主な確認内容＞

- ① タイムラインの目的、運用方法の確認
- ② 令和3年度出水対応の課題を踏まえた令和4年度取り組みの確認
- ③ タイムライン運用上の留意点と対応の確認
 - ・タイムラインの立上げ・レベル移行の条件と連絡方法
 - ・タイムラインレベル毎の防災対応の実施例
 - ・出水後の課題整理と改善への活用

＜令和4年度新規取り組み＞

取り組み事項	取り組み内容
①意思決定、危機感共有	オンライン会議試行
②防災計画とタイムラインの整合	自治体版タイムラインの作成支援 「総括表」形式のタイムライン作成
③防災情報・防災行動の共有	Lアラート情報による防災情報共有の入力簡素化



会議開催状況



西山座長（吉井川・高梁川）
前野アドバイザー

気候危機と呼ばれている状況に対応するため、上下流の自治体が連携して減災・防災対応に取り組んで頂きたい。（西山座長）

防災気象情報を適切に活用し、防災行動を漏れ無く実施するためにタイムラインを用いて防災行動の確認して頂きたい。（前野アドバイザー）

【参加機関】

岡山市、赤磐市、真庭市、新庄村、鏡野町、久米南町、美咲町、倉敷市、井原市、総社市、高梁市、新見市、浅口市、早島町、矢掛町、笠岡市、津山市、備前市、瀬戸内市、和気町、勝央町、玉野市、里庄町、奈義町、西粟倉村、岡山県警察本部、岡山地方气象台、中国電力(株)岡山支社、山陽SC開発(株)、中国電力ネットワーク(株)、西日本電信電話(株)岡山支店、(一社)岡山県LPガス協会、岡山ガス(株)、津山ガス(株)、岡山ネットワーク(株)、岡山電気軌道、岡山シティエフエム、エフエムゆめウェブ(株)、広島県、岡山県、中国四国農政局・高梁川用土地改良区、苫田ダム管理所、岡山河川事務所

- 令和4年度岡山三川水害タイムライン読合せ訓練を開催（令和4年9月2日（金）13:30～15:30）
- 読合せ訓練では、防災行動共有システムの改良状況を共有するとともに、本格的な台風シーズンを迎えるにあたり、台風期への備えとして、タイムラインの運用方法や防災行動項目、情報共有方法を確認
- 防災行動項目の確認（読合せ）では、タイムラインレベル毎に想定される状況や主な対応を確認しながら、タイムライン詳細版を用いて参加機関が防災行動項目を確認

<令和4年度台風期に向けた訓練内容>

- (1) 防災行動共有システムの改良状況について
 - ① Lアラート情報等の表示による入力簡素化
 - ② 防災行動共有システム（図形式）について
- (2) 読合せ訓練
 - ① 運用方法の確認
 - ② 防災行動項目の確認（読合せ）
 - ③ 情報共有（テロップ）
- (3) 質疑応答、訓練意見とりまとめ

読合せ訓練 防災行動項目の確認（読合せ）



行動項目 (第2階層)	内容	担当	実施	確認	...
河川・ダム・道路グループ	河川・ダム・道路グループ	岡山県	○	○	...
...

① タイムラインレベル毎の状況とタイムライン上の主な対応を確認

② タイムラインレベルの状況と対応をイメージしながら、各機関で防災行動項目を確認

全ての関係機関がタイムラインを活用することが重要である。情報共有を確実にし、入手した情報を自機関の防災行動に活用頂きたい。
(西山座長)

大型の台風11号が来週に最接近と予測されている。関係機関の皆様には、しっかりと対応頂きたい。
(前野アドバイザー)



会議開催状況
西山座長 前野アドバイザー
(吉井川・高梁川)

【参加機関】

岡山市、赤磐市、真庭市、新庄村、鏡野町、久米南町、美咲町、倉敷市、井原市、総社市、高梁市、新見市、浅口市、早島町、矢掛町、笠岡市、津山市、備前市、瀬戸内市、和気町、勝央町、玉野市、里庄町、奈義町、西粟倉村、岡山県警察本部、岡山地方気象台、中国電力(株)岡山支社、山陽SC開発(株)、中国電力ネットワーク(株)、西日本電信電話(株)岡山支店、(一社)岡山県LPガス協会、岡山ガス(株)、津山ガス(株)、岡山ネットワーク(株)、岡山電気軌道、岡山シティエフエム、エフエムゆめウェブ(株)、広島県、岡山県、中国四国農政局・高梁川用土地改良区、苦田ダム管理所、岡山河川事務所

- 令和4年度岡山三川水害タイムライン振返り検討会を開催（令和5年1月12日（木）13:30～15:30）
- 振返り検討会では、令和4年度の出水概要を振り返るとともに、事前に実施した振返りアンケート結果によって明らかになった、タイムラインに関する課題や改善方針を確認
- 振返り（意見交換）では、改善方針に関連したテーマについて意見交換を実施

＜タイムラインに関する振返り内容＞

- ①令和4年度の出水概要の共有
 - ・タイムラインの運用状況、令和4年度の出水状況、読合せ訓練の実施概要を確認
- ②振返りアンケート結果の報告
 - ・振返りアンケート結果によって明らかになった、タイムラインに関する課題や改善方針を確認
- ③振返り（意見交換）の実施
 - ・改善方針に関連したテーマについてリアルタイムアンケートを用いて意見交換を実施

＜テーマ毎の振返り（意見交換）内容＞

テーマ	振返り（意見交換）内容
① 効果的な引き継ぎに向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・約9割の機関が「タイムラインの引継ぎの経験が無い」と回答 ・引き継ぎツール（解説動画、チェックリストなど）の重要性を確認
② 各機関で防災計画等の妥当性を検証する方法	<ul style="list-style-type: none"> ・約8割の機関が「出水対応が無かった場合は防災計画等を検証していない」と回答 ・机上訓練による検証、他地域の災害を参考とした検証など、出水対応が無かった場合の検証方法を意見交換
③ タイムライン発動基準の改善案	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムライン発動基準を、早期注意情報（警報級の可能性）かつ府県気象情報の発表とし、確度が高い状況に絞ってタイムラインを発動することを事務局から提案 ・約9割の機関が「改善案に賛同する」と回答
④ 情報や進捗状況の共有について	<ul style="list-style-type: none"> ・約9割の機関が「公開情報の共有は自動集約により効率化する方向性に賛同」と回答 ・気象等の見込み情報や専門家の意見は、発信者の作業の輻輳や情報の重複に留意しつつ共有することが重要かつ課題
⑤ オンライン情報共有について	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から実施されたオンライン情報共有は大変良い取組であったので、今後も取組を継続 ・オンライン情報共有は、岡山県や気象台が開催するオンライン会議・説明会と時期や内容が重複する部分があるため、同時開催や省略等の検討が必要



会議開催状況



西山座長
（吉井川・高梁川）



前野アドバイザー

上流から下流への情報共有を確実にを行うためにはシステムの活用が重要である。引継ぎツールの作成など、システムの活用を支援する必要があると感じている。（西山座長）

各機関が引継ぎが十分に出来ていない中で、解説動画や学習サイト、引継ぎチェックリストの作成は有効と感じる。また、システムの有効活用に向けた操作演習も行ってはどうか。（前野アドバイザー）

【参加機関】

岡山市、真庭市、鏡野町、美咲町、倉敷市、井原市、高梁市、新見市、浅口市、矢掛町、津山市、玉野市、岡山地方気象台、中国電力(株)、西日本電信電話(株)、(一社)岡山県LPガス協会、岡山ガス(株)、津山ガス(株)、山陽SC開発、岡山県バス協会、エフエムゆめウェブ(株)、中国四国農政局・高梁川用土地改良区（小阪部川ダム）、苫田ダム管理所、岡山県、岡山河川事務所、広島県

- 令和4年度吉井川・旭川・高梁川水害タイムライン改善検討会を開催（令和5年3月13日（月）13:30～14:30）
- 改善検討会では、振返り検討会で実施した振返り（意見交換）の内容を踏まえた、タイムラインの改善を承認し、防災行動の取組推進を図ることとしました。

＜水害タイムラインの改善取組＞

テーマ	改善取組
①効果的な引き継ぎに向けて	以下のタイムライン引継ぎツールを作成し、関係機関へ令和4年度内に周知し、活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ タイムライン解説動画:「①導入編」「②活用編」「③訓練編」の3つのテーマ・活用場面に分けて作成 ・ 学習サイト(タイムライン特設サイト):タイムラインの概要や、上記の解説動画と、過去の検討会で挙げられた質問等をFAQ方式でとりまとめたサイトを構築 ・ 引継ぎチェックリスト:異動時に引継ぎが必要な項目と、参照資料を整理
②各機関で防災計画等の妥当性を検証する方法	各機関で防災行動を検証しやすいタイムラインの活用・作成促進や読合せ訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ タイムライン総括表:各機関で防災計画等の検証をしやすくすることを目的に作成促進 ・ 自治体タイムライン・各機関タイムライン:各機関で防災計画等の検証をしやすい資料として、今後も作成を促進 ・ 読合せ訓練:令和5年度も引き続き実施
③タイムライン発動基準の改善案	タイムライン発動基準を以下の通り見直し、気象状況に即したタイムラインの発動基準へ変更。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 早期注意情報(警報級の可能性)かつ府県気象情報の発表
④情報や進捗状況の共有について	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポータルサイト全般:交通機関などの民間公開情報を自動集約する方針で引き続き改良を実施 ・ 見込み情報・専門家の意見:オンライン情報共有等を試行しながら引き続き改善 ・ 防災行動共有システム(表形式):自動取得できない情報の共有に向けて、操作性の向上を図りつつ、「共有すべき情報」を精査・検討 ・ 防災行動共有システム(図形式):自動取得できる情報の取得拡大と、情報の時系列表示を検討
⑤オンライン情報共有について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気象台が開催する台風・大雨説明会等との同時開催。 ・ 具体的な案内方法、タイムラインの説明内容は出水期までに調整。



会議開催状況

タイムラインは、各機関からの意見を反映し、作り上げているところである。タイムラインをより良いものとするため、屈託のない意見をいただきたい。
 (西山座長)



西山座長
(吉井川・高梁川)

タイムライン解説動画、チェックリスト等を活用し、担当者の引継ぎや、タイムラインに関する再確認を着実に実施していただきたい。
 (前野アドバイザー)



前野アドバイザー

【参加機関】

岡山市、赤磐市、真庭市、鏡野町、久米南町、倉敷市、井原市、高梁市、浅口市、矢掛町、笠岡市、備前市、瀬戸内市、勝央町、玉野市、里庄町、岡山県警察本部、岡山地方気象台、中国電力(株)、西日本電信電話(株)、(一社)岡山県LPガス協会、岡山ガス(株)、山陽SC開発、JR西日本、笠岡放送(株)、岡山県、中国四国農政局、岡山河川事務所、広島県